

# 肝付町の 教育・文化・スポーツの



教育長  
コラム  
Vol.18

今回のテーマ

## 読書活動



肝付町では、「やぶさめ（80・2・30）運動」として、各学校を通じて、毎日30分間はテレビを消して、家族との語りや読書をする時間を設ける取組を進めています。

また、夏休みに高山中学校（読書ボランティア）などの協力の下「ふれあい緑陰読書会」を開催したり、町内の小・中学校等に勤務する図書司書が中心となり結成された読み聞かせの会（チューリップの会）にお力添えいただくなどして、地域全体で子供たちの学びや成長を支える活動を行っています。

読書することは、「考える力」「感じる力」「表す力」等を育てるとともに、豊かな情操をはぐくみ、すべての活動の基盤となる「価値・教養・感性等」を生涯を通じて涵養していく上でも、極めて重要であることから、引き続き、家庭や地域における読書活動を支援してまいります。



▲ふれあい緑陰読書会



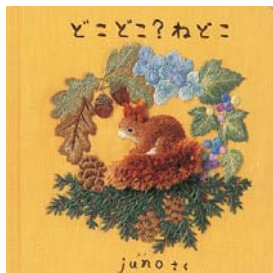
▲子ども芸術劇場

### <教育長レポート>

おおすみハナマルシェ実行委員会※（実行委員長：隈崎和代さん）から「どこどこ？ねどこ（junot作）」などの児童用絵本の寄贈があり、文化センター図書室に配架させていただきました。

この場をお借りして、謹んで御礼申し上げます。

各家庭での読み聞かせなどにご活用ください。



※おおすみハナマルシェ実行委員会は、大隅半島で作られる商品の魅力発信と、作り手同士の交流の場を設けることを目的として、平成27年から活動を始め、マーケット等の収益の一部を地域の図書館に絵本を贈る取組などを行っています。